

ライフコース論

2016 学年春学期

アール キンモンス担当

テーマ・概要

- 現代社会における人生の変化と現在の家族・社会が抱える課題を知る
- 社会の変化とともに人生経験のあり方は変化をしていきます。また個々人の人生の選択が、新しい人生のあり方をうみ、ときには社会変動をもたらします。
- この授業では、日本における人生の変容の趨勢をとらえ、晩婚化、少子化、女性の働き方の変化など、戦後の日本社会が人々の人生に何をもたらしたのかを考えていきます。

到達目標

- 結婚や出産といった出来事経験にどのような変化が生じつつあるのか、その要因とともに説明することができる。
- 社会変動が人々の人生にどのような面でどのような変化をもたらしていったのかを説明することができる。

授業形態

- 講義形式
 - 講義
 - ビデオ
 - ニュース報道
 - 記録番組
 - 資料
 - 新聞記事

テキスト・参考文献

- テキスト

- 特に指定しない．ビデオとホームページに乗せている資料はテキストとして使用する。

- 参考文献

- 献山田昌弘、小林 盾，ライフスタイルとライフコース-データで読む現代社会（成蹊大学アジア太平洋研究センター叢書，2015)

評価方法

- 平常点 20%
 - 出席率
 - 出席君
 - 学生証を持参する
- 期末試験 80%
 - 多肢選択式試験
 - 講義 ビデオ 資料
 - 最終授業日

講義のテーマ

- 授業紹介
- 担当教員の自己紹介

高齡化と少子化

- **人口変動**：終戦後から将来まで日本の人口
- **ライフの終焉**：終活・孤独死・安楽
- **異文化**：日本人と外国人、特に外国人介護士

生活様式

- **消費生活**：終戦後から現在まで日本人の消費生活の変化
- **住まい**：団地とニュータウンの高齢化
- **高齢化**：買い物難民・公衆交通難民
- **階級化**：一億総中流社会から格差社会へ
- **格差**：母子・父子家庭と子供の貧困
- **家族形態**：終戦後から現在まで日本の家族・結婚・離婚
- **農業**：日本の農業と農家は生き残る道あるか

雇用と教育

- 教育：戦後日本における学歴主義の発展
- 雇用：終身雇用から非正規雇用へ
- 女性：終戦後から現在までの教育・雇用
・ 出 産

期末試験

- 15 回目授業日
 - 多項選択式
 - 講義
 - ビデオ
 - 参考資料

ホームページ

- 参考資料・抗議のスライド
- <http://www2.gol.com/users/ehk/taishod/raifu> (常時)
- <http://ehk.servebeer.com/users/ehk/raifu> (深夜停止)

担当教員へのメール

- ehkuso@gmail.com
- 題目 (subject) に
 - 名前、
 - 学籍番号、
 - 授業名(ライフ)を記入する

オフィスアワー

- 水曜日 2 時限
- 256-C 研究室
- 事前の連絡は不要
- 他の時間帯も可能

スライド終了

- スライド(講義)・資料・配布物
 - <http://www2.gol.com/users/ehk/taishod/raifu>
 - <http://ehk.servebeer.com/taishod/raifu>
- オフィスアワー
 - 水曜日 2 時限 256-C 研究室
 - 他の時間帯も可能
- メール
 - ehkuso@gmail.com